

目標達成計画

作成日: 令和 元年 12月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	職員の退職に伴い人員不足が見られ、新入職があっても十分な教育指導時間を取れないまま、職員換算と考えざるを得ないところがあった。それにより新入職者、指導者共に早く仕事を覚えないといけないとの意識からプレッシャーを感じていたとの事。	経験者と未経験者では指導方法や進行具合は変わるが、指導者も指導される側も安心して進めれる状況を作り上げる。	新入職後の新人教育には十分な時間をかけた。経験者には経験者なりの万葉としての業務進行を伝え、未経験者には認知症との関わり方から指導する。勤務回数にもよるが、3日、1週間、2週間、1ヶ月、3ヶ月の区切りで習得状況を判断する。	入職後 3～6ヶ月
2	35	今年度も消防訓練は日中想定、夜間想定で年2回実施する。夜間想定においては全ご入居者を居室ベッドからの誘導は行っていないので、実際の想定とは言えないものの訓練としては役割を決め一連の行動で実施。火災の他、地震発生時、台風による風水害の対応についての予備知識習得に努めたい。	今後も消防訓練は消防署の指示のもと10月、3月に行うが、夜間想定では少数のご入居者でもベッド臥床からの誘導でよりリアルに行く。消防訓練とは別の機会を持って地震、台風による風水害を盛り込んだ内容での訓練を実施する機会を設けたい。	毎回、2回の内1回は実際に消防士に参加頂き、適切な指導を仰ぐ。大地震発生時の動きを検討する事と台風による停電時の必要備品(食糧関係)2日分は備蓄リストも作成し蓄えている。今後2日以上以上の停電も有り得る事から、不足備品を検討したい。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。